



上半期の注目調査テーマを、発表いたします！ 2025年上半期 SVPリサーチテーマ・トップ10

2025年上半期を振り返りながら、SVPジャパンのクイックリサーチでご依頼いただいた「調査テーマ・トップ10」を発表いたします。

①政治

日本では、2024年末に発足した石破茂首相率いる新政権が、2025年上半期も引き続き少数与党体制での政権運営を余儀なくされました。衆参両院での過半数割れにより、野党との協調が不可欠となり、政権の安定性が問われる場面が多く見られました。また、物価高が国民生活を引き続き圧迫し、特にコメの価格上昇への懸念が広がる中、政府は備蓄米の放出や緊急輸入などの対応策検討に迫られました。一方、アメリカではトランプ大統領が再任し、“America First”の方針を再び強調。対外政策の大幅な見直しが進められ、対中関税の再強化や同盟国との関係見直しが国際社会に波紋を広げています。不安定な政権基盤のもと、社会保障・財政・外交の舵取りは一層難しくなっており、今後の対応が注目されます。

②経済

2025年上半期の日本経済は、物価高と外部環境の不透明感が強まるなかで停滞が続きました。実質GDPは1～3月期に前期比0.2%減となり、4四半期ぶりのマイナス成長を記録。主因は輸出の減少と輸入増による外需の悪化でした。個人消費は物価上昇の影響で横ばいにとどまり、なかでも食品価格の高騰が家計に深刻な打撃を与えました。2025年6月の消費者物価指数(生鮮食品除く)は前年比+3.3%、コメの価格は1年前に比べて2倍に上昇しています。また、アメリカによる対日関税の強化や世界的な貿易摩擦が輸出産業を圧迫し、先行きへの懸念が強まっています。政府は経済や農業分野への支援を拡充していますが、円安と物価高の影響は依然として続いており、持続的な賃上げが物価上昇に追いつくかどうか、今後の経済の行方を左右するとみられます。

③社会

2025年上半期は、物価高やコメ不足による生活不安が広がる中、4月に開幕した大阪・関西万博が前向きな話題を提供しました。万博には国内外から多くの来場者が訪れ、イノベーションや多様性、地域活性化への期待が高まりました。最新のAIや脱炭素技術、次世代医療などの展示や体験プログラムが注目を集め、若者を中心に新しい価値観の醸成にも寄与しています。一方で、少子高齢化や人口減少による労働力不足や地域格差、社会的孤立といった構造的課題も残されています。多様性と包摂性を重視した社会づくりが引き続き求められています。持続可能な社会への意識が一層高まった半年間となりました。

上記関連情報に関する調査をご希望の際は、当社までご相談ください。SVPにご依頼いただきました、リサーチテーマの「トップ10」について、次ページの通り、ご案内いたします。



2025年上半期 SVPクイックリサーチテーマ・トップ10

順位	調査テーマ
1位	AIの業務活用事例（技術開発、分析、品質検査など） 業務効率化や自動化、精度向上を目的にAI活用が急速に拡大しています。特に技術開発では設計支援、分析では大量データのパターン抽出、品質検査では画像認識AIが注目されており、導入障壁の低下とともに幅広い産業で事例が増加。人手不足の解消や競争力強化が期待され、問い合わせが増えています。
2位	先端半導体実装材料の市場、メーカー、技術情報 5G・AI・自動運転など次世代産業を支える半導体性能向上のカギとなるのが先端半導体実装素材です。高信頼性・高放熱性素材の開発が加速し、メーカー間の技術競争も激化。世界的なサプライチェーン再編も進み、国内外市場や有力メーカー動向への関心が高まっています。
3位	バイオベース化学品の開発動向 バイオベース化学品市場は、持続可能性や脱炭素化の流れを背景に急成長しています。再生可能資源の活用や政府支援、技術革新が進み、バイオプラスチックや工業用途での利用が拡大。企業の研究開発投資も活発で、環境規制強化や消費者意識の高まりが市場拡大を後押ししています。
4位	宇宙空間で使用する製品、部材、材料の市場動向 小型衛星や宇宙探査の拡大で、宇宙空間向け製品・部材・材料市場が活況です。高耐熱・耐放射線性など特殊性能を持つ素材の開発が進み、民間企業の参入も増加。宇宙ビジネスの裾野拡大とともに新規需要が創出され、国内外の市場調査・将来予測への注目が高まっています。
5位	産業用ドローン（空中、水中）の開発動向、活用事例 インフラ点検、農業、防災、物流など多様な分野で産業用ドローンの導入が進んでいます。AI・センサー技術の進化により運用の自動化や安全性が向上し、水中型も積極導入。省人化・コスト削減、業務効率化ニーズから、今後一層の普及が期待されており、調査依頼が増えています。
6位	医療、農業、介護向けサービスロボットの市場動向
7位	PFASの処理、分解、代替技術の開発企業情報
8位	二酸化炭素の回収・貯留・利活用技術動向
9位	断熱、遮熱、放熱関連製品、技術情報動向
10位	製品製造、分析、評価などの受託企業情報

弊社サービスの詳細等につきましては、左下のボタンより、ご参照・お問い合わせください。



1分でわかる

SVP会員制 ビジネス情報サービス



1.ビジネス情報収集における環境の変化

環境の変化が激しく、将来の予測が非常に困難な時代に入

変化①

社会環境の変化



- ✓戦争の勃発
- ✓新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)の流行
- ✓気候変動

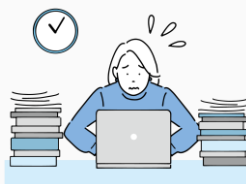


変化②

ビジネス環境の
変化



- ✓テクノロジーの進化
- ✓グローバル化
- ✓新世代の台頭
- ✓破壊的企業の躍進



組織的な課題に直面

2.企業が直面している3つの課題

これまで以上に、迅速で的確な情報収集・分析能力が求められています

1

幅広いビジネス 情報のアクセス

幅広い事象に関して、
スピーディーにアクセスできる
環境の整備



2

質の高い情報の獲得 (重要領域での質の担保)

信頼できる上質な
ビジネス情報を収集できる
環境の構築



3

成長が期待される 新市場の動向把握

事業機会の可能性がある全ての
市場や企業動向を認識する
ケイパビリティの有無

3.当社サービスが提供する価値



ビジネス情報に関する皆さまの課題を当社が解決いたします！

SVP会員サービス



解決① クイックリサーチ

I.

膨大なビジネス公開情報へアクセスし、スピーディーに最適な情報を提供

解決② プロジェクトリサーチ

II.

カスタム調査を通じて、質の高いビジネス情報と分析アウトプットを提供

解決③ SVPナレッジ

III.

当社が定義する、メガトレンドや注目市場の動向予測レポートを提供

4. サービス一覧



年間契約で3つのサービスをご提供します



I. クイックリサーチ

活用シーン

- ・日々のリサーチ作業をアウトソースして、分析や戦略立案など付加価値業務に注力したい。
- ・ニーズに合ったビジネス情報を、スピーディーにわかりやすくまとめて提供して欲しい。

特徴

- ✓幅広いビジネス公開情報の活用
- ✓プロのリサーチャーによるニーズ把握と最大2時間の調査
- ✓わかりやすくまとめたレポートでご報告

納期 最短2日営業日以内

III. SVPナレッジ

活用シーン

- ・メガトレンドを中心とした、将来、事業に影響を与える環境要素は何か知りたい。
- ・①Z世代、②サステナビリティ、③テクノロジー、④新興国を含む海外市場、⑤破壊的企業の動向を把握したい。

内容

- ✓SVPメールマガジン
- ✓SVPインサイト
- ✓SVP注目市場分析
- ✓SVPトレンド調査

配信頻度 月1回以上

II. プロジェクトリサーチ

活用シーン

- ・公開情報では公表されていない、市場や業界、企業、消費者の情報収集がしたい。
- ・自社の事業領域に関する、質が高く、ニーズに即した情報を入手して、ビジネスに即活用したい。

特徴

- ✓広範なカスタム調査・分析
- ✓デスクリサーチ
- ✓ヒアリング調査
- ✓Webアンケート調査

納期 調査内容に応じて決定

5.導入実績



年間調査実施数
約15,000件



商用DBシステム利用
20システム



国内外企業財務情報
4,000万社以上



SVPネットワーク
世界40カ国の広がり

日本の売上高トップ100社中7割の企業でのご利用実績 導入企業600社以上





—SVP JAPANのサービスについて—

2営業日以内に調査結果をご報告

クイックリサーチ

[詳しくはこちら](#)

カスタムメイドのリサーチサービス

プロジェクトリサーチ

[詳しくはこちら](#)



—各種お問い合わせ—

資料ダウンロード

[こちらをクリック](#)



お問い合わせ

[こちらをクリック](#)



s'il vous plaît
SVP JAPAN
株式会社SVPジャパン

まずはお電話でもお気軽にお問い合わせください。

TEL:03-3249-0771

